主要な農作物の生育情報

令和４年度　第６号

（令和４年９月９日）

福島県農林水産部農業振興課

【作　物】

1　水稲

農業総合センターの作柄解析試験では、出穂期が本部（郡山市）で平年より２日から４日遅く、会津地域研究所（会津坂下町）で平年より３日遅く、浜地域研究所（相馬市）で平年より１日から２日遅くなっています（表１）。

表１　水稲主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

調査場所	品　種	移植期	出穂期			成熟期の
			本　年	平　年	平年差	平 年 値
		（月日）	（月日）	（月日）	（日）	（月日）
本　　部	ひとめぼれ	5.16	8. 6	8. 3	3	9.15
	天のつぶ	5.16	8. 8	8. 4	4	9.16
	コシヒカリ	5.16	8.13	8.11	2	9.26
会津地域	ひとめぼれ	5.19	8. 1	7.29	3	9.12
研 究 所	天のつぶ	5.19	8. 3	7.31	3	9.14
浜 地 域	ひとめぼれ	5.10	8. 1	7.31	1	9.14
	天のつぶ	5.10	8. 3	8. 2	1	9.23
研 究 所	コシヒカリ	5.10	8.10	8. 8	2	9.28

注１）調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市
注２）平年は、2017～2021年の平均値

2　大豆

農業総合センターの作柄解析試験では、標播で開花期は本部（郡山市）で平年並から２日早く、会津地域研究所（会津坂下町）で平年より２日早く、浜地域研究所（相馬市）で平年より２日遅くなりました。

表２　大豆の生育ステージ

調査場所	品　種	播種期	出芽期	５葉期	開花期	成熟期
		（月日）	（月日）	（月日）	（月日）	［月日］
本　　部	タチナガハ	6. 1（+1）	6.14（+2）	7. 4（-2）	7.26（ 0）	［10.24］
	あやこがね	6. 1（+1）	6.12（ 0）	7. 2（-4）	7.24（-1）	［10.18］
	里のほほえみ	6. 1（+1）	6.12（ 0）	7. 4（-2）	7.25（-2）	［10.25］
会津地域研究所	あやこがね	6. 1（+1）	6. 9（-1）	7. 6（+1）	7.23（-2）	［10.14］
	里のほほえみ	6. 1	6. 9	7. 6	7.25	
浜地域研究所	タチナガハ	6.14（+5）	6.23（+4）	7.19（+6）	8. 4（+2）	［10.25］
	里のほほえみ	6.14	6.19	7.16	8. 4	

注１）調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市
注２）平年は、2017～2021年の平均値（会津地域研究所、浜地域研究所の里のほほえみはなし）
注３）（　）は、平年差日数

【野　菜】

1　きゅうり

県北地方の雨よけ栽培では、８月の天候回復により草勢が回復しています。県中地方の露地栽培では、８月上旬に収穫ピークとなり、現在はやや生育停滞しています。抑制栽培では、８月上旬から収穫が始まっています。

病害は、雨よけ栽培、露地栽培ともにハダニ類の発生が見られています。

2　夏秋トマト

県南地方の４月定植の作型では、11段果房の収穫中で、15段花房が開花しています。南会津地方の５月下旬定植の作型では、６段果房の収穫中で、12段花房が開花しています。８月の高温と日照低下により、草勢の低下が見られています。

病害虫は、灰色かび病、コナジラミ類の発生が見られています。

3　さやいんげん

５月定植の作型は収穫が終了し、６月播種の作型が収穫中となっています。また、７月播種の作型は生育期で、生育は良好です。

4　夏秋ピーマン

県中地方のトンネル栽培では14節、露地栽培では11節の果実を収穫しています。平年より収穫節位が高く、生育が進んでいます。

病害虫は、斑点病の発生が見られています。

【果　樹】（９月５日現在：農業総合センター果樹研究所）

1　もも

「川中島白桃」の収穫盛期は８月18日で平年より７日早くなりました。果実の大きさは423gで平年より大きく、糖度は13.6°Brixで平年並でした。

「ゆうぞら」の収穫盛期は８月27日で平年より６日早くなりました。果実の大きさは451gで平年より大きく、糖度は12.8°Brixで平年並でした。

2　なし

「幸水」の収穫盛期は８月27日で平年より２日早くなりました。果実の大きさは447gで平年より大きく、糖度は11.6°Brixで平年よりやや低くなりました。

「豊水」の満開後135日ごろにおける成熟調査では、果実硬度が6.6ポンドで平年より高く、糖度が11.0°Brixで平年よりやや低く、果皮中クロロフィル含量は7.0μg/cm^2で平年より高い状況です。

「豊水」の果実肥大は暦日で比較すると、縦径が84.5mm（平年比112％）、横径が98.0mm（平年比113％）と平年より大きい状況です。満開後日数の体積指数による比較でも平年より大きくなっています。

3　りんご

「つがる」の収穫盛期は８月31日で平年並した。果実の大きさは302gで平年より大きく、糖度は12.8°Brixで平年より高く、果肉硬度は10.5ポンドと平年より低くなりました。

「ふじ」の果実肥大は暦日で比較すると、縦径が76.5mm（平年比106％）、横径が83.1mm（平年比105％）と平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数による比較でも平年よりやや大きくなっています。

【花　き】

1　キク類

８月咲きの切り花盛期は８月１半旬から３半旬で、平年並からやや遅くなりました。草丈は、平年並から短くなりました。

９月咲きの生育は平年並からやや遅れていますが、９月２半旬から出荷が開始されています。草丈は平年並からやや短くなっていますが、切り花長は十分に確保されています。

病害虫は、ハダニ類、アザミウマ類の発生が散見されています。

2　リンドウ

８月盆向け早生品種の切り花盛期は８月２半旬で、平年並から遅くなりました。草丈は、平年より長くなりました。

９月彼岸向け中晩生品種の生育は平年並からやや遅れていますが、８月25日頃から出荷が始まっています。草丈は平年並から長くなっており、切り花長は十分に確保されています。また、花弁の高温障害が一部の地域で散見されています。

病害虫は、葉枯病、黒斑病、茎腐病、アザミウマ類、ハダニ類が散見されているほか、褐斑病が上位葉まで進展しているほ場が一部で見られています。

【飼料作物】

1　牧草

２番草の収穫は、雨天が続いたため遅れましたが、概ね終了しました。３番草の生育は平年並で、９月上旬から収穫・調製が始まっています。

2　飼料用トウモロコシ

生育は平年並です。８月下旬から収穫・調製が行われています。

3　ＷＣＳ用稲

８月下旬から収穫・調製が行われています。

◎　病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！
体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課　TEL(024)521-7344
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyouhou